

形（形式）とプレート番号

屋外展示場にある蒸気機関車（貨物運搬用）の、正面・側面・後方プレートに記された「69665」という「数字の意味」について説明します。

蒸気機関車は、構造や形状などによって『形（形式）』に分類されるのですが、本機は『9600形』の車輛です。同時代の旅客用蒸気機関車には『8620形』というものがあり、数字表記だけでなくアルファベットと数字を組み合わせた『D51形（通称デゴイチ）』などもよく知られています。

9600形の1番機のプレート番号が「9600」、2番機が「9601」、3番機が「9602」で、あとは順に数字が1ずつ増えて100番機が「9699」です。要するに、下2けたの数字に1を足した数が製造順番号になるのです。

そして、101番機……。これを9700とすれば、既にあった『9700形』蒸気機関車の1番機と区別がつかなくなります。そこで、96100でもなく、百の位の1をプレート番号の先頭（一万の位）に付けて「19600」としました。これは、形（形式）を表す『96』の数字・位、ともに変えなくてよい表記方法でした。

それでは、プレート番号「69665」に戻しましょう。『96』の前に付いた6が百の位の数を表し、下2けたが65ですから、製造順番号は $665+1=666$ となります。

つまり、屋外展示場の蒸気機関車は「9600形の666番目に造られたもの」となるのです。ちなみに、この形（形式）の最終製造機である770番目の車輛には、プレート番号「79669」が付いていました（「79669」製造順： $769+1=770$ ）。